

2006～2007年度 地区財団奨学金・学友委員会

委員長 溝畑 正信

(東大阪東RC)

ソルトレイク・シティーで開催された第98回国際ロータリー年次大会に出席致しました。6月16日(土)開催のロータリー財団学友同窓会セミナーおよびロータリー財団学友同窓会レセプションの状況を中心にお伝えしたいと思います。また、今大会で初めて開催された世界平和シンポジウムについては、当地区の世界平和フェロー寺西悦子さんに報告していただきます。

セミナーおよびレセプションのプログラムは、財団学友の功績に焦点を当て、2006～2007年度の全世界学友人道奉仕賞の表彰も行われました。

セミナーでは、まずルイス・V・ジアイ財団管理委員長が財団学友の重要性について述べ、次にアシュレイ・E・ヨークさん(財団学友、GSEメンバーとして、岩手・日本に派遣され、また財団奨学生としてシンガポール国立大学に留学)が、財団プログラムの影響について話し、エド・フタRI事務総長も財団学友はロータリーの将来にとって重要と述べました。

レセプションでは、2006～2007年度全世界学友人道奉仕賞にはPhilip Lader大使(第7770地区推薦)の受賞が報告され、彼の受

諾講演がありました。

フィリップ・レーダー大使は、1967～1968年度アメリカ・フロリダ州セント・ピーターズバーグ・ロータリークラブからの推薦により、国際親善奨学生としてオックスフォード大学で歴史を学び、1997～2001年にかけて、英国のアメリカ大使として、北アイルランドの和平プロセスに重要な貢献をしました。米国大統領の首席補佐官代理なども務め、南カロリーナやオーストラリアの大学長も務めていました。赤十字、デューク大学公共政策研究所、銀行、教育機関、児童団体等の理事で、国家安全保障のビジネス幹部の代表も務めています。さらに、14の大学やカレッジより名誉博士号を授けられています。

また、レセプションには世界平和シンポジウムに参加した世界平和フェローも参加し、友情と親睦を温めました。

2008年ロサンゼルスRI国際大会では、財団学友世界同盟の初回会合が行われます。各地区は、代表として財団の元奨学生1名ならびにGSEチームメンバー1名を学友世界同盟の会合に送るよう奨励されています。

寺西 悦子

(2005～2007年度 世界平和フェロー)

第98回ロータリー国際大会に先駆けて、2007年6月14日～16日の3日間、ロータリー財団世界平和シンポジウムの記念すべき第1回がアメリカ、ソルトレイク・シティーで開催されました。第1期生から5期生まで、7つのセンター(現在は6センター)からの卒業生、現役生合わせて数百名が参加しました。私もオーストラリア・クイーンズランド大学の第4期フェローとして3日間参加してきました。平和シンポジウムの内容は、各大学のロータリーセンター、ロータリー財団からの発表、平和フェロー卒業生がパネラーとして、さまざまな分野、地域のセッションに分かれて、平和、紛争予防、紛争解決、平和構築などについてのプレゼンテーションが行われ、意見交換をしました。昼食や夕食の席でも、議論は尽きることなく、

多くのロータリアンとも交流し、多くのネットワークを築くことができました。同じ大学の先輩に会うだけではなく、他のセンターで同じ志を共にする世界中からの仲間との交流、ネットワークの強化、情報交換を行うことができたことは、とても有意義でありました。この平和シンポジウムにおいて、平和のビジョンを各フェローが広めていくこと、それぞれが自信をもって発言していくこと、そして、平和への道のりは難しくとも、可能であるということを再確認することができました。現在、4期生まで232名の平和フェローが誕生し、それぞれが、世界各地で平和に貢献しています。私もその一人として、平和へ貢献していこうという自覚を新たにしました。



ルイス・V・ジアイ財団管理委員長(2006～2007)と溝畑委員長



フィリップ・レーダー 全世界学友人道奉仕賞受賞者(2006～2007)



世界平和フェロー(右から2人目寺西)